

あなたとつながる

12月
定例議会

もがみまち議会だより

No.167
2020年 1月23日



大堀神楽

大堀神楽は、例年正月に行われている悪魔払いの門付け(門回り)神楽で、「大堀のあんばれかぐら」の呼び名で親しまれてきました。一説では、大堀神楽の歴史が江戸時代まで遡る伝えがあるとされています。

- 新年のあいさつ……………2
- 補正予算可決……………3
- 特集①予約型乗合バス(デマンド型)… 4～5
- 議案審議……………6
- 請願・臨時議会……………7
- 一般質問……………8～11
- 特集②青少年から議会へのメッセージ… 12～13
- 議会の主な動き、おらだの声、編集後記……………14

12月
定例会
10日~12日

令和元年度の一般会計・特別会計 追加補正予算可決

補正額 2億9873万円 総額 110億1520万円

12月定例会は、12月10日から12日までの3日間の日程で行われました。上程された議案は、全16議案を慎重審議した結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。また、一般質問には4名が登壇し町政をただしました。

一般会計(歳入) (単位:万円)		
項目	補正額	合計額
負担金	7	9105
国庫負担金	▲19	2億9582
国庫補助金	51	2億2743
県補助金	▲109	2億7204
寄附金	200	1億5210
繰越金	1億2754	2億6896
雑入	5334	1億3079
町債	500	7億7040
一般会計合計	1億8718	22億859
補正後予算額		66億5563

特別会計 (単位:万円)		
項目	補正額	合計額
国民健康保険	6713	10億6713
後期高齢者医療	0	1億0450
介護保険	3518	12億7143
最上病院(収益)	▲250	11億1840
介護老人保健施設(収益収入)	373	3億3786
水道(収益)	373	2億6641
農業集落排水事業	20	2127
下水道	408	2億1604
特別会計合計	1億1155	44億304
総合計	2億9873	110億5867

※千円単位は切捨 ▲はマイナス

主な歳出補正予算

一般会計	
財政調整基金積立金	1億4729万円
町営バス事業費	871万円
ウェルネスプラザ運営費	600万円
小学校教育振興費	449万円
水道事業特別会計繰出金	373万円
給食センター運営費	142万円
大場育英基金繰出金	200万円
農地災害修繕用原材料費	150万円


新年あけましておめでとうございます。新たな時代への始まりであります。町にとっても町民の皆様にとりましても、輝かしい一年になりますよう祈念します。

振り返りますと平成時代は災害の時代と言われます様に全国各地で予想外の大災害が起きましたし、当地域でも大変な被害を受けております。令和の時代に入りまして、そのような事のない穏やかな時代であって欲しいと思っております。

当町を取りまく環境は大変厳しいものがあります。今まで進めて来た政策等の検証・事業評価をしながら、やらなければならぬ事はしっかりとやるとの姿勢で取り組んでいくべきではありませんが、なんでもできると言う事ではありませんので町民の皆様方にもご理解とご協力をお願いしたいと思います。令和の時代が災害のない平穏な時代であります様に願いながら年頭の挨拶と致します。

謹賀賀賀新年

最上町議会議長 伊藤 一雄



今年もよろしくお願ひいたしします



どうなる？

予約制乗合バス(デマンド型)

問 実施するにあたっての予算計上の内容は？

答 町全体に向かっているという考えの中で、まずは来年4月から東エリア実施に向けて、スムーズに移行するために各委託料は3月の1ヶ月分を計上しています。計上内容全体としてはシステム



町営バス 定時型からデマンド型へ

導入経費、予約センター運営業務委託料、運行業務委託料、バス購入費になります。

問 予約システム、バスの仕様は？

答 予約システムは、事前登録をして頂き個人の情報を入力し、予約を受けるとシステムの地図上で効率の良いルートが作成されます。

購入するバスに関しては、現状の一列線の利用状況、経営効率を考え、14人乗りとしました。

問 想定される予約センターの委託先、場所はどこを考えているのか？

答 健康づくり、買い物支援、交流支援を含めて行える予約センターに行きたいという構想を持っていきます。想定される事業者候補としては、社会福祉協議会、NPO団体、商工会、民間会社と考えられます。設置場所は向町中心部が望ましいと考えています。

問 今回は、なぜ無償で行う社会実験ではなく、料金を取りながらの運行実施なのか？

答 今まで、3年にわたリシュミレーション、検証が行われてきたものと捉えています。具体的に前森・萱場線等の3年間の社会実験を踏まえた

問 予約センターの業務委託、運行業務委託の発注方法はどのように考えているのか？

答 方向性を示す仕様書に基づき、合致できる企業や団体に指名発注を考えています。選定の中ではプレゼンや金額を提示していただいて、より低コストで良いサービスの提示者が選ばれるという形で競争原理は働いてくるものだと考えています。

問 第二次地域福祉計画をどう捉えているのか？

答 計画の中では、将来デマンド交通にするべきだという答申を頂いていきますので重く受け止めながら、交通弱者に対する

外出支援、生涯現役で頑張れる健康と福祉のまちづくりの基盤として政策を進めていきたいと考えています。

問 利用者、町民の声がまだまだ聴けていないのではないかと？

答 職員が一列線の利用者のみですがアンケートを取っています。乗れる日数、利用者の人数にも限りがありますが、一定程度の声は聞いています。アンケートの中では「このままで良いのではないかと」という意見が半分、「家まで来てくれるデマンドが良い」という意見も半分あるというのは事実です。まだまだ周知できていない面がありますが、現在の利用者だけでない方々への周知徹底も含めすぐに取り組んでいきます。

令和元年度一般会計補正予算において
反対3人、賛成3人がそれぞれの立場で議論しました。

討論

反対4人、賛成6人で可決

討論の内容(抜粋)は以下の通りです。

※討論とは…採択に付される前に議案に対する反対・賛成の旨と理由を述べて、他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言です。討論交互の原則により、反対答弁から交互に記載します。

反対

宮本 浩 議員

私が反対する理由は、予約制乗合バスの一点であります。計画の運行方式では、想定できない要素が多くあり、事業費が増える可能性、利用者にとって過度な待ち時間や希望の時間に利用できない等、逆に利便性が損なわれる結果を招いてしまう不安が、今までの答弁では払拭できませんでした。もっとも大きな事、利用者や町民の意見を十分に聞かずに進めていく姿勢では、本当に町民が利用しやすい公共交通体系の一元化にはならない。との思いから、反対をさせていただきます。

反対

小林 守 議員

私は議案第82号の乗合バスについて反対します。これまで行政側から住民に対しての説明が丁寧でなかったこと、これが反対の理由です。住民不在で安心を提供できないなら先延ばしする必要がありません。14人乗りバスに一列市ノ沢と松根の奥から1人1人乗せて来ると時間がどれくらいかかるかも考えれば不可能なこととは明らかです。予約システムも更新に費用がかかります。時期尚早と言わざるを得ないことから反対します。

反対

山田 則雄 議員

予約センターを新たに設置と言うが「新た」でないかと駄目なのか？これに伴う合計8箇所の視察では全てタクシー会社との連携で行う方法でした。バスは停留所方式が多く、後期高齢の証明書で75才以上は無料というのもあった。大半の市町村ではタクシー券が配布され、大いに活用されている。長い距離の場合の自己負担は納得して利用しているという。町民にはまだまだ不安が残っているようで、私はとことん皆さんと話し合うのが一番だと考えていることから反対とします。

賛成

菅 征悦 議員

公共交通体系デマンド型については、平成24年3月に策定された地域福祉計画にも「週2回運行している町営バスだけでなく、高齢者や交通弱者の社会参加の町づくりを目指し自宅の玄関から目的地までのデマンド交通体系が望ましい」と町に答申しており、我々議会は将来の町づくりに向けた活動をすべきと私は日々そう思っています。修正すべき所は運行しながら修正できるものであります。町民の将来に向けた幸せを願い賛成討論と致します。

賛成

佐藤 義男 議員

声の大きい人だけの声に耳を傾けてよいのでしょうか。我々は町の将来を一任された代表者です。今の課題解決方法が将来の課題解決にも繋がるものでなければなりません。単なる病院だけの足の確保だと人口減少と競争の激化で、利用者は減少して行くのは明らかです。そこに健康寿命の延伸という付加価値を付けて行く最上町版デマンド交通、又、NPOや社会福祉協議会等の「公」がスクラムを組む形が協働の町づくりでは最高です。新しい施策を展開する勇氣に賛同するものです。

賛成

橋本 正 議員

今定例会に提出されている補正予算は小学校の光熱費、それに民生費、ウエルネスプラザ運営の光熱費等々どれをとっても重要な補正予算です。予約制乗合バス(デマンド型)の補正予算だけではありません。大いに議論するところは議論し、大所高所に立って議員として決議しなければなりません。私は議員の責任において議案第82号に賛成いたします。

臨時職員の待遇改善へ

臨時職員の給与

問 臨時職員数と今後の対応や年間支出額について

答 現在の町の臨時職員数は75名になります。今後は「会計年度任用職員」に移行します。国の法律改正により求められる処遇改善に対応していきます。町の年間支出額の増加分として、4千万円〜5千万円となります。尚「会計年度任用職員制度」に移行した場合、それら職員に支払われる給与が総額で2億円程が見込まれます。

一般職員の給与

問 この条例が改定されることによって、どれだけ金額が増額になるのか？

答 棒給改定や一時金の改定等により、およそ250万円から300万円の支払金額の増加になる見込みです。

指定管理者の指定

問 指定管理業務について、現在課題となっている事は無いのか？

答 1つ目は、少子化によって現在スポ少が1団体のみとなっています。このような事から利用が少なくなってきたこととです。2つ目は、小規模多機能住宅介護事業を行っていますが、介護士等の人材確保が課題となっています。

問 スクールバスを多目的に使用できないか？ また安全装置、色、バスの停留所の場所の選定はいかがか？

答 バックモニターを取り付けます。車色は地域運行別に色を変えます。停車場の選定は冬場の雪の状況、地域の方や保護者の意見を聞き選定します。

教師用指導書

問 教師用教科書指導書購入費48万円増とあるが、なぜ、当初予算ではなく補正なのか？

答 この度、文科省の学習指導要綱が改定されたことに伴い、教師が授業を行う上で、参考となる指導書になり、教科書の進め方などが記載されているものです。当初予算編成時には、全ての学級数が確定しておらず、教科書の選定も終わっていない段階でしたが、11月に来年度の学級数、教科書の選定も終わり購入金額が確定したため、この度の補正になりました。

学校・家庭・地域連携

問 学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助金167万4千円減額の内訳は？

答 学校支援地域本部で最上中のサポート塾、小学校の図書コーディネートなど、学校と地域をつなぎ、国が1/3、県が1/3、町が1/3で事業運営されていますが、年度に入ってから国庫補助金決定後に、国の減額と同じく減額になりました。



▲最上中サポート塾 年末の冬期集中講座

請願 みなさんの請願を慎重に審査いたしました

件名及び要旨	提出者	紹介議員	付託委員会	措置
「小規模企業振興基本条例」の制定を求める請願	もがみ南部商工会 会長 佐藤 隆	佐藤義男	総務文教 常任委員会	採択
「次期食料・農業・農村基本計画」に関する請願	もがみ中央農業協同組合 代表理事組合長 安食 賢一	岸 錦也	産業厚生 常任委員会	採択

“賛成全員”

10月臨時議会（増額補正）

▼向町小学校教室改修工事

8,639千円



改修始まる向町小学校

問 パソコン教室をなくし、オープンスペースにパソコンを設けるといいますが、来年度から必修となるプログラミング学習などどのように行っていくのか？

答 2階と3階のオープンスペースにデスクトップ型のパソコンを移設し、必要な場合はそこで行っていきます。

問 改修するにあたって、各教室にはエアコンは設置されるのか？また、職員の増員により職員室の職場環境は大丈夫なのか？

答 各教室については、エアコンを設置する予定です。また、職員室の増築は難しいので、少しでも職場環境が充実できるように取り組んで参ります。

“賛成多数”

【賛成6人 反対5人】

11月臨時議会（増額補正）

▼最上中学校大規模改修工事

41,611千円



最上中学校 工事風景

問 多額の改修工事費用補正額、なぜ当初予算に盛り込めなかったのか？

答 当初、目視での調査では把握できませんでした。外壁を剥がしてみると、クラックが多くこのような大きな補正額となりました。

問 以前もこのような建物での案件があり、議論した経緯があります。設計業者の選定に問題がなかったのか？

答 今後、このような事案をしっかりと反省・検証し、指名審査委員会の検討課題としてまいります。

問 1期・2期工事で確認できなかったのに、なぜ今回交換が必要になったのか？

答 今年の9月に水漏れが確認され調査したところ、ヘッダーの老朽化により交換が必要になりました。



町政を問う

4 議員が一般質問

予約制乗合バスを見直すべき



宮本 浩 議員

町長答弁 東エリアから先行実施し効率を見極める

答弁 現行の一列線に職員が乗りながら利用者にアンケートをとり、運転手の方に話を聞き傾向が見えていますが今後は地域に入りながらニーズの在り様をきめ細かく捉え、運行時間の検討予約センター機能充実、

質問 今回のデマンド型の予約制乗合バスは、不定時、自宅の玄関から拠点施設までをつなぐ自由経路ですが、果たして利用者の希望時間に合わせて不便なく運行できるのか？

答弁 現在は、変則的な社会実験に留まっています。本来は、往路・復路が同一でその実証レベルと言えますので、実証が中途半端な感否めぬかと思いますが、来年4月から半年間で東エリアを先行実施して軌道修正も含めて町全体に拡大できる様に向かっていきたいと考えています。



▲町民が利用しやすい公共交通とは

12月18日は記念日だが？



小林 守 議員

町長答弁 新幹線や町の2次交通との連携を図る

質問 12月18日の「封人の家」の国の重要文化財の指定の日をどれだけ大事に扱っているか？今年で丁度50年、芭蕉来町330年の区切りに「タイムカプセル掘り出し」事業の他に何か考えているか？また、8月末から11月までの週末は最上町内で数多くのイベントがあり、行政職員がその度ごとリオーダーシッパをとっていたが「働き方改革」に背を向ける結果とはなっていないか？



▲封人の家

答弁 人口減少の状況などのイベントは重要ととらえています。約3ヶ月の毎週ごとのイベントを集約した場合、効果、場所の問題、時期的なことなど様々な角度から検証してまいります。また「封人の家」については義経や芭蕉での誘客も重要と考えます。50周年はその日にこだわらず、新幹線の2次交通の充実も図りながら大きな視点で検討してまいります。

9月議会再質問

質問 9月議会で質問した「町営バス」「関係人口」「最上校存続」に関する事業の進展は？「関係人口」については総務省のカラーの冊子でのPRがあつてよかったが。

質問

答弁 「予約制乗合バス」も含め「町営バス」は令和2年4月スタートに向けて準備を進めています。「関係人口」については、宮城・仙台圏をターゲットに、継続的なつながりを持つ機会を提供する取り組みを強化してきたところであります。他にも教育旅行、大学生の最上町のフィールド調査、バイオマスツアーなどを通して宣伝してきています。「最上校存続」については、町外の新庄市などの中学



▲新庄北高最上校の授業風景

「関係人口」については、宮城・仙台圏をターゲットに、継続的なつながりを持つ機会を提供する取り組みを強化してきたところであります。他にも教育旅行、大学生の最上町のフィールド調査、バイオマスツアーなどを通して宣伝してきています。「最上校存続」については、町外の新庄市などの中学

質問

答弁 利用者を始めとして広く町民の方からの声を十分に聞かずに進めています。どう考えているのか？

質問

答弁 町民に対する丁寧な説明の在り方について行き届かなかった点があると思います。ですが、「第2次最上町地域福祉計画」「第8次高齢者福祉計画」において関係団体、地域の声を踏まえた上の計画はあるわけでありするので、これを基本としながら充実した政策として仕上げていく決意です。

質問

答弁 「デマンド型の予約制乗合バス」を再度検討し、まずは「町営バスの再構築、それにプラスアルファの機能や支援を行っていく」という考えに見直しませんか？

質問

答弁 従来の公共交通体系の更なる充実を含めて、今回のデマンド交通の仕組みを提案させて頂いています。交通弱者に対する温かい町づくりという事で、交通体系の一元化を進めていきたいと考えています。

堺田・松根の水道は？



山田 則雄 議員

町長答弁 井戸掘削・水質対策で補助金を

答弁 国道47号線では、騒音調査を実施しており、その結果「環境基準」及び「要請限度」ともに基準を満たしております。振動調査はその都度、現地調査を行い、対策を講じます。

質問 最上町は東は堺田から、西は瀬見まで国道47号が貫き、明神橋から尾花沢経由の県道28号線は住居が立ち並んでいます。深夜から早朝まで、大型の重量車はスピードと振動を加えて走ります。調査並びに対策はあるのか？

質問 奥の細道330年、町内外への発信は心を感じ取ることができませんでした。活気も伝わりませんでした。大雪の時期以外、連日押し寄せる分水嶺、封人の家これまで見学者来町者の調査等を行った事は？データをもって全国に発信する事はないのか？

答弁 誘客事業として町観光協会、赤倉観光協会旅館部会、町ポランティア協議会等が連携し、山刀伐峠、トレッキング、宿泊プラン企画、最上・庄内エリアの広域連携による周遊チケットを作成してきました。又、JRや首都圏旅行会社、インバウンドツ

質問 我が町に豊富に浸み出す水ながら未だ恩恵にあたらぬ集落が存在します。最上町に戻って暮らす人にとって1番の不安は飲料水でした。何故なら水道が現在でも通っていない現状なのです。住み暮らし、未だ満沢集落の水を頼り生活をつなぐ堺田の町民もいます。

「水道未普及地域の対策」

アール会社と共に奥の細道関連のツアーを組み、PRと誘客を行ってきたところです。奥の細道紀行300年当時に比べ、旅行形態も大型バスでの団体旅行から、個人旅行に変化するなどニーズが多様化していますが、封人の家を含めた松尾芭蕉関連の史跡をアピールする大きな機会となりました。「封人の家」来館者は4276名でした。

答弁

今年度より「水道未普及地域対策事業補助金交付要綱」を定め、井戸の掘削及び水質検査や滅菌器の設置に対し、補助していくものであります。水道施設の整備が困難な未普及地域の松根・鍋倉地域において、地域の方々と丁寧話し合いを持ちながら、飲料水を供給する施設に対し町民に良質で安定した飲料水の確保に努めて参ります。



▲松根から鍋倉方面をのぞむ

絆大使の方々との繋がりをどう持っていくのか？

町長答弁 絆大使の意見を反映させ 事業を展開して参ります



岸 錦也 議員

質問 最上町絆大使を担っていただいている方々は大学教授、会社社長、弁護士、衆議院議員、歌手、演奏家など多種にわたります。町では絆大使の方々、に町報と絆大使通信や課題など知っていただくやり取りをしているとの事です。絆大使の方々に各種イベント、行事、大会等への招待状を送付しているのでしょうか？これから絆大使の方々との繋がりをどう持っていくのかお伺いします。

答弁 平成21年4月に「最上町絆大使設置要領」を制定いたしました。これまで31名の方を委嘱させて頂いていただいております。大使の自らの活動の中で最上町を紹介していただいたり、得意とする分野で町の事業に貢献されております。例えば関東圏・仙台圏のものがみ友の会を率いて頂いたり、大学研究のステージを最上町に構えて、全国に情報発信していただいております。しかしながら絆大使の突出した技能を十分引き出せていない面もあることも承知しているところであります。今後の絆大使との繋がりをどう深めていくのかについて模索して参りたい。制度の制定から10年の節目を迎え新たな取り組みが必要な時期となっております。絆大使の皆様のご意見を反映させながら、今後の事業を展開して参ります。

「高齢者の安全対策」

質問 近年、高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故が多く報道されています。町民の方々の車両に「後付け安全装置」を取り付ける場合、補助金の交付など、町としての考えを伺います。

答弁

国では2021年11月から自動ブレーキ搭載を義務付ける方向で検討に入っているとのことです。踏み間違い対策としての「後付け安全装置」を設置することが可能な状況であり、今後の補助の在り方につきましては、国補助制度の動向を注視しつつ、県との連携を密にし町民に理解が得られる方向性を見極めながら協議検討して参ります。

「医療費無償化の進展」

質問 9月の議会でも質問しました、高校3年生までの医療費無償化の現状は？

答弁

今年度は子ども子育て支援事業計画「第2次最上すこやか子どもプラン」の策定の年にあたり、医療費無償化につきましては子育て世代のニーズを把握し、総合的な子育て支援政策の一つとして検討して参ります。



▲絆大使：笠原 治氏(株)JRアグリ仙台代表取締役

青少年から議会へのメッセージ

このページでは小学生の作文紹介から中学生の議会傍聴の感想や高校生との授業での交流の様子を紹介致します！

最上校 広報編集委員との交流



○決まった予算で議会だよりを製作・編集していたことが分かりました。文章や文字がギチギチになってしまうのも予算があるからなのだと思います。議会だよりの中の自己紹介のページがおもしろかったです。



○私は今日の授業で議員の方がどのようなことをしているか、広報なので色々な人に見てもらえるようにしっかりと話し合いをして決めているので良かったと思いました。



○この生活で議会だよりを見ることがあったらしっかりと内容を読んで色々学びたいと思います。

○議員さんたちは休みがなく、ほとんど仕事をしていると聞いてすごいと思ったし、よりよい町にするために色々な工夫をしていることがわかりました。ありがとうございました

○議会の方と実際に会話してみて、とても町のことが好きだということがわかりました。

○議会だよりの事を改善しようと考えていて、すごいと思いました。議員さんの給料に驚きました。町長さんのお給料が82万というのがびっくりしました。町の事を考えていて私も協力できたらしたいです。



○今日話し合いをしてとても楽しかったです。また学校に来てほしいと思いました。〇〇さんがとてもかわいかったです。〇〇さんも話しやすくよかったです。空き家の話もできてよかったです。

小学校 最上町青少年育成町民会議 作文コンクールより



大堀小6年
やまだあおい
山田葵衣さん

「未来へつなぐ一票を」

今年7月後半から始まった町議会議員選挙に私はあまり興味ありませんでした。そこで祖父に聞いてみると「選挙は町議会議員という大事な役割を持つ人を決めることなんだよ」と、教えてもらいました。私は朝から夜まで大きな音をたてていて、うるさいなあと思ってましたけれど、これがとても大事なことになるんだと分かりました。何を言っているのか聞いてみると「〇〇〇〇です。がんばりましょう」「最後までがんばりましょう」と言っていました。住民の人たちはそれにこたえるように、手をふったり、声をかけたり、あく手をしたりしていました。

トを行い、18才以上の若い人たちに来てもらう」ということも考えました。会場イベントをするので、若い人たちはイベントを見に行く、プランス選挙もしてくるといふ流れにかわると思っています。さらに会場に入れない18才未満の人たちは、大人が行くことによつて子供は大きくなったなら一緒にいきたいと思おうようになると思います。

今回の選挙で当選した人は住民の声を届け、これからの最上町を作る人たちです。しっかりとがんばってほしいです。大人だけでなく、若い人たちや小中学生も町について考えをもっています。そんな声も聞きながら、町のために活発に動いてほしいです。

私が選挙権を持つのは6年後です。私はこの最上町が大好きです。将来、もつとにぎやかで住みやすい最上町であることを期待したいです。私も選挙を行い住民の声を届ける、大事な1人をきちんと選び、投票したいと思っています。そして最上町の町民として、ボランティアや地域活動に積極的に参加し、今以上に良い最上町にしてきたいです。最上町議会の方と町民が協力し合っていきたいです。

最上中学校1年生 議会傍聴の感想

- 議長の活動が多いことが分かった。
- 議会での質問を見て自分もプレゼンをする時に参考にしたい。
- 除雪車は、雪が10センチ積もると出勤で除雪作業をしている人も大変であることが分かった。
- 閉校した学校の除雪はどうするのか、の質問があり、町のことが前より分かった。
- 新庄に農林業の専門大学ができることが最上町の人口減少を止めることにつながると思った。
- 堺田には水道がなく井戸水やお店で水を買っている人がいることがわかった。

○封人の家には4276人の来場者があり海外からの人もいることがわかった。

○最上校を存続させてほしい。

○高校3年生まで医療費を無料にする案は良いと思いますが、町の費用が足りなくなってしまうのではないかと。



特設会場での議会中継の様子(役場3階会議室)

中学校から最上校へ

小児科の設置

子供への医療・福祉が担保される

～の年代で利用可能に！

～がいることで市内の雰囲気明るくなる

バスラッピングのイメージ

広告掲載期間	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
15万円	30万円	50万円	80万円	

製作費 60万円
契約終了後1ヶ月間継続費 40万円

デザイン料 5万円

※0120の広告会社の所です。

最上町が抱える問題点

- ・人口の少なさ
- ・Uターン率の低さ
- ・出生率の低下

そのために戻りたいと思わせることが重要

最上町1周！スタンプラリー

月曜から日曜まで最上町を一周し、スタンプラリーに参加しよう！

スタンプラリーのルール

- 1. 最上町を一周する
- 2. スタンプラリーに参加する
- 3. スタンプラリーのルールを守る

最上中学校3年生総合学習プレゼン

特集②青少年とのつながり

特集②青少年とのつながり

議会の主な動き

10月8・9日 石巻・新庄地域高規格道路 要望

国道47号の地域高規格道路、石巻新庄線実現の為に地方創生と国土強靱化を推進する、道路整備予算の確保及び、「石巻、新庄道路」の早期実現について強く要望いたしました。



11月3日 定例表彰式 町民フォーラム

令和元年度、最上町定例表彰 町制施行65周年記念特別表彰式が行われ、各分野で町の発展に功績のあった39名の皆さんが受賞されました。これからも町の発展の為によろしくお願い致します。



12月3日 大崎市議会・最上町議会交流会

最上町議員12名と町長、大崎市議会17名・副市長と事務局長が一同に会し議論いたしました。水害、国道47号線、石巻新庄地域高規格道路など、これからも大崎市と連携を一層深めて参ります。



※誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

編集後記

▽「令和」と新たな元号が発表されたのが4月1日、そして5月1日から「令和時代」が始まりました。

昨年の一文字では「令」が選ばれ、消費税10%が施行されたことも重なります。12月の「山形ふるさとCM大賞」では最上校の生徒が出演した「眠り…姫？」が特別賞に輝きました。

さて、令和2年です。最上校のみなさんが活躍している姿をテレビでときどき見られることでしょうか。最上町のCMマーシャルが高校生の映像で行われる。いい一年となりますように。

(小林 守)

【発行責任者】

議長 伊藤 一雄

【広報編集委員会】

委員長 尾形 勝雄

副委員長 宮本 浩

委員 佐澤 浩

小林 守

菅 孝

岸 錦也

おらの声

小野貴之さん【立小路】

農業



現状、農業を取り巻く環境は大変厳しいものになっています。担い手の減少、それに伴う耕作放棄地の増加、農業資材の値上がり、そして景気悪化による内需の低迷、少子化による国内マーケットの縮小。更に降雪地であるこの町では生産

時期や品目が限られている状態です。この状況の中で、この町での営農を軸として抜げていくにはどんな経営戦略が必要なのか。現在の視点からもう少し広い視点へ上げていく必要もあるのではないかと。様々なことを考えますが、日本の農業と最上町の農業の現状の中で、自身の農業のこれからをどういった方向性で向かうべきか。既存の考えだけではなく新しい可能性も踏まえ進めて行かなければならないと感じています。

議会傍聴へのご案内

次回の定例会は 3月 定例会です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362 (直通)

議会インターネット配信

今定例会の視聴回数 のべ 817回



議会傍聴者数 のべ 123人でした QRコード

過去の定例会、一般質問も町のHPからご覧になれます